

[illegible]

斯ノ如キ高率ノ関稅ヲ課セラルルニ於テハ運賃其ノ他ニ於テ巨額ノ費用ヲ要スル我國ノ製品ハ到底歐洲諸國ト競争ス

ルコト能ハサレハ此際両國貿易品中相互ニ關係ノ最深キ
主要品目ヲ撰ミ適當ニ關稅ヲ協定シ以テ相互貿易ノ利便ニ
資セラレンコトヲ

大正五年五月十七日

大阪商業會議所会頭 土居通夫（印）

事項七 「カナダ」ニ於テ本邦移民排斥關係一件

一四一 一月二十三日 加藤外務大臣ヨリ
在ヴァンクーヴァー阿部領事宛電報

東洋人卜白人卜ノ結婚許可証二付問合ノ件

第一号

新聞電報ニヨレハ貴地方ニ於テハ白人ト東洋人間ノ結婚許可証ハ州政府ノ許可ヲ待タサレバ与ヘサル事トナセル由右ハ如何ナル事情ナリヤ回電アレ

一四二 一月二十三日 在ヴァンクーヴァー阿部領事ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

東洋人卜白人卜ノ結婚許可証二関スル件

第四号

貴電第一号ニ関シ表面ノ理由ハ近来自婦人ト東洋人間ニ結婚屢々行ハルルヲ以テ其取締方法トシテ州内各地方 Sheriff ニ対シ左ノ内訓ヲ発シタリト云フ

In future no licenses to marry where one of the parties is Asiatic and the other of the white race are to be granted until after the application has been referred

七「カナダ」ニ於テ本邦移民排斥關係一件 一四一 一四二 一四三

to the head office in Victoria. Term "Asiatic" is described as embracing Chinese Japanese and East Indians.

オタワへ電済ミ

一四三 一月二十八日 加藤外務大臣ヨリ
在ヴァンクーヴァー阿部領事宛

英領コロンビア州官憲ノ東洋人白人間結婚ニ

対スル真意確メ方訓令ノ件

通送第一号

B・C州官憲カ州内「シェリフ」ニ対シ爾今日本人支那人又ハ印度人ト白人種間ノ結婚ハ一旦州庁ニ照会シタル後ニ非レハ許可ヲ与フヘカラストノ内訓ヲ発シタル件ニ関シ貴電第四号御報告ノ次第有之候処右ハ自然日本人白人間ノ結婚ニ対シ之ヲ禁止若クハ制限ヲ設クルノ意ニ出デタルモノニハ無之候哉其辺承知致度候ニツキ貴官ハ可然方法ニヨリ本件内訓ニ関スル真相御確メノ上御意見ト共ニ御申出相成

候様致度此段及訓令候也

一四四 二月二日 在ヴァンクーヴァー阿部領事ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

英領コロンビア州首相ヨリ日本会社ノ登記禁止ノ廃止及官有林伐採ニ日本人使用禁止ヲ停止ノ意向ナル旨ノ公文受領ノ件

第六号

拙電第三号ニ関シ首相ヨリ秘密ノ二月一日附公文ヲ受領セリ

I beg to acknowledge the receipt of your several letters in regard to certain restrictions imposed upon Japanese in this province. I beg to advise you that the Attorney-General has under consideration a new consolidation of companies act to be submitted to legislature at an early date, in which prohibition of registration of Japanese company in British Columbia will be omitted. With regard to timber licenses, I quote from a memorandum just received from the Minister of Lands:

I have to advise that in pursuance of your instructions, I have directed Chief Forester to suspend

ノ回答報告ノ件

第一〇号

貴電第三号ニ関シ二月六日附公文ヲ以テ首相ニ対シ御訓令ノ趣申入レ置キタルニ二月九日附公文ヲ以テ回答ニ接シタリ

It gives me pleasure to acknowledge the receipt of your letter dated 1/2, contents of which I have duly noted with much encouragement for the future. With regard to timber licenses, I beg to say that the Government of Japan will certainly appreciate any effort or assurance, on the part of your Government, to make the said suspension permanent one and in future to place Japanese residents in the province of British Columbia, on the same footing as the subjects of most favoured nation. Hoping for favourable answer at your earliest convenience.

I am very glad to have your communication of the February 6th and can give you my assurance that I shall be glad to take up with you from time to time any matter that may affect status of Japanese residents in British Columbia.

enforcement of prohibition against employment of Japanese in connection with special timber licences.

オタワ済ミ

一四五 二月五日 加藤外務大臣ヨリ
在オタワ矢田総領事宛(電報)

英領コロンビア州官有林伐採ニ日本人使用問題ニ関シ将来ノ保障ヲ同州首相ニ要請スル様
在晚香坡領事宛訓令ノ件

第三号

左ノ通晚香坡領事へ転電アレ

第三号

貴電第六号公文末段ニ関シ貴官ハ首相ニ対シ若シ本問題ニ関シ将来日本人ヲ全然欧米人ト同等ノ地位ニ置ク旨書面ノ御回示ヲ得ハ本国政府モ定メテ満足スヘキ旨申入レラルベシ

一四六 二月十一日 在ヴァンクーヴァー阿部領事ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

英領コロンビア州官有林伐採ニ日本人使用問題ニ関シ同州首相へノ申入及之ニ対スル首相

一四七 二月二十二日 加藤外務大臣ヨリ
在ヴァンクーヴァー阿部領事宛

英領コロンビア州官有林伐採ニ日本人使用解禁ニ関シ州官憲ヨリ将来ノ保障ヲ書面ニテ取附クル様訓令ノ件

通機密送第二号

B・C州官林伐採ニ日本人使用解禁ニ関スル件

B・C州官林伐採ニ日本人使用方解禁ノ件将来ノ保障要求ニ関スル往電第三号訓令ニ基キ貴官カ州官憲ニ送致セル公文並ニ之ニ対スル返翰内容貴電第十号ヲ以テ御報告相成候処已ニ往電第四号ヲ以テ申進候如ク右公文ハ当方訓令ノ趣旨ニ適合シ居ラス從テ首相ノ回答モ亦当方ノ満足スル能ハサルモノニ有之候抑モ本件解決ニ関スル当方ノ希望ハ昨年往電第二十二号ニ示シタル如ク現在及将来ニ亘リ日本人ヲ歐洲人ト同一地位ニ置ク趣意ナルニ係ラス貴電第三号並ニ第六号ヲ以テ御報告相成タル首相ノ解決策ニヨレハ現行免許状中ノ禁止条項ハ之ヲ存置シテ何等措置ヲ採ラス(将来発給セラルヘキ免許状ニ就テモ同様ト認メラル)単ニ其助行ヲ見合スト云フニ過キサルヲ以テ改メテ往電第三号ノ訓

七 「カナダ」ニ於テ本邦移民排斥關係一件 一四八

令ヲ發シタル次第ニ有之右訓電ノ趣旨ハB・C州官憲ヲシテ将来本問題ニ関シ日本人ヲ全然歐米人ト同様ニ取扱ヒ決シテ曩日ノ差別的待遇ヲ再起セサルベキ書面保障ヲ要求スルニアリタル次第ニ有之候処貴官ハ州首相ニ交渉セラル、ニ当リ「該停止ヲ永久的ナラシメ且ツ日本人ヲ最惠国民ト同様ニ待遇スルコトノ努力又ハ保障」云々ノ文字ヲ使用シテ当方要求ノ主眼タル書面保障ノ意味ヲ不明ナラシメタルヲ以テ首相ハ今後B・C州在住日本人ノ地位ニ影響スル問題起レル場合ハ貴官ト協議スヘシトノ回避的返答ヲ出スニ至リタル次第ト被相認候本件ノ解決ヲ單ニ禁止勵行停止ノ限度ニ止メ何等将来ノ保障ヲ得サルニ於テハ排日ノ根底深キ貴地方ニ於テ時局ノ變遷ニ伴ヒ何時禁止ノ再開ヲ見ルヤ難測次第ニ有之候ニ付貴官ハ往電第三十三号及第三号訓令ノ趣旨ヲ体セラレ改メテ州官憲ニ交渉シ円滑ニ本件将来ノ保障ニ関スル州政府ノ書面ヲ取付クル様御尽力相成度此段申進候也

本信写送付先 オタワ総領事

一四八 二月二十四日

在ヴァンクーヴァー阿部領事ヨリ
加藤外務大臣宛

一八八

英領コロンビア州官憲ノ日本人人間結婚ニ
対スル態度ニ関シ回報ノ件

機密公第九号

(三月二十四日接受)

大正四年二月廿四日

在晚香坡

領事 阿 部 嘉 八(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

B・C州官憲ノ黃白人種雜婚ニ対スル態度ニ

関スル件

本件ニ関シ本年一月二十八日附通送第壹壹号ヲ以テ御訓令ノ趣敬承致候曩ニ報告ノ通り本件ニ関シB・C州官憲側ニ於ケル表面ノ理由ハ近時屢々黃白人間ノ結婚行ハル、ニ依リ其ノ取締方法トシテ爾今東洋人ト白人種間ノ結婚ハ一旦州庁ニ照会シタル後ニ非レハ許可ヲ与フヘカラストノ内訓ヲ發シタリト謂フニアルヲ以テ果シテ東洋人白人間ノ結婚カ近時激増シタルヤ否ヤ当晚香港及ヴィクトリア兩地ノ結婚許可官憲タル「シェリフ」ニ付キ取調ヘタルニ兩所トモ客年中此種ノ結婚ヲ許可シタルコトヲ記憶セズトノ事ニテ前記州官憲ノ説明ト事実相違ノ廉有之候ニ付本官ハ二月二十

右此段及回答候 敬具

本信写送附先 在英大使、在オタワ総領事

一四九 三月八日 在ヴァンクーヴァー阿部領事ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

玉場法案副知事不承認及B・C州ニ於ケル日

本会社ノ登記許可ニ関スル件

第三五号

(三月九日接受)

三月六日閉会シタルB・C州會議ニ於テ苟モ日本人ニ不利益ナル法案ハ發議前若クハ討議ノ際之ヲ撤回セシメ第三號会ヲ通過シタル球場法案ハ Lieutenant Governor ノ不承認ヲ求メ遂ニ排日的法律ヲ全然防止スルコトヲ得タリ尚現行会社法ヲ改正シ日本会社ハ州内ニ於テ登記ヲ許可セラルルコトナレリ右ハ一ニ日英親善ノ關係ニ鑑ミ首相 Mc Bride ノ尽力ニ依ルモノナルコトヲ玆ニ報告ス
在英大使及在オタワ総領事ニ転電ス

一五〇 三月八日

在ヴァンクーヴァー阿部領事ヨリ
加藤外務大臣宛

玉場法案副知事不承認ニ関スル件

機密公第一一号

(四月十六日接受)

七 「カナダ」ニ於テ本邦移民排斥關係一件 一四九 一五〇

一八九

大正四年三月八日

在晚香坡

領事 阿 部 嘉 八 (印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

玉場營業免許狀獲得資格トシテ人種の區別ヲ設ケ之ヲ高加索土人種ニ屬スル丁年以上ノ男子ニシテ滿一ケ年間当州内ニ居住シ且選舉人名簿ニ登録シ居ル者ニ限リタル改正法案ノ今期州議會ニ提出セラレタル旨二月十八日附拙電第一八号ヲ以テ報告申進タルニ對シ(法案ハ二月十八日機密公第七号拙信ヲ以テ送附済)二月十九日貴電第五号御回訓ノ次第有之依テ直チニ「ヴィクトリア」ニ出張首相ニ面會御回訓ノ意ヲ体シ懇談的ニ申入タルニ首相ハ当方ノ意ヲ了シ之ヲ受諾シタル件ハ二月二十二日附拙電第二〇号ヲ以テ申進置候然ルニ其ノ後ノ委員會ニ於テ同業出願者ノ資格ハ酒類販売免許狀條例ノ下ニ規定セラレタル出願者ノ備フヘキ資格ヲ準用スヘキ旨訂正セラレ候(別添同法案参照)右ハ高加索土人種云々等極端ナル字句ヲ削除シタルニ止リ其ノ意義ニ至リテハ毫モ改正前ト異ルトコロナキ旨「ヴィクトリア」ヨリノ情報ニ接シタルヲ以テ不取敢本月三日附拙電第

領事 阿 部 嘉 八 (印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

今期州議會ニ提出セラレタル「An Act to Amend the 'Municipal Act」中第九編酒類販売免許狀規則ノ内第三一九条ニ更ニ同条Aトシテ本年新タニ改正追加セントシタル免許狀獲得者ノ資格ニ關スル条項ハ曩ニ玉場法案中ニ訂正追加セントシタル排日的条項ト殆ト同様ノ条項(別添附屬書類第一五頁参照)ナルヲ以テ玉場法案同条項ニ對シ申入レタルト同様ノ理由ニヨリ右削除方申入レタルニ首相ハ之ヲ諾シ三月四日夕ノ委員會ニ於テ檢事総長「パウザー」氏ノ發議ニ基キ同条項ヲ削除シ三月六日会社法ト共ニ第三読會ヲ通過シタリ

右報告申進候 敬具

本信写送附先 在英大使、在オタワ總領事

註 別添書類省略

一五二 三月十五日

在ヴァンクーヴァー 阿部領事ヨリ
加藤外務大臣宛

カナダニ於ケル排日感情ノ緩和ニ関シ報告ノ件

七 「カナダ」ニ於テ本邦移民排斥關係一件 一五二

二六号ヲ以テ電信申進タルト同時ニ首相ニ交渉ノ目的ヲ以テ同地ニ出張候処既ニ委員會ノ訂正ヲ報告シ了ルト同時ニ第三読會ヲ通過致居リ候依テ首相ニ本官ニ對スル前約ヲ履行セラレムコトヲ申入レタルト同時ニ別紙書翰ヲ手交シタルニ首相ハ第三読會通過後ノ今日余ストコロ只副知事ノ不承認ヲ求ムル道アルノミトノ事ニテ固ク其ノ実行ヲ約シ候処三月六日果シテ副知事ハ同法案ニ承認ヲ与ヘス同夜閉會式々場ニ於テ玉場法案改正案ハ副知事カ承認ヲ与ヘサル旨議員ニ宣シ候右報告申進候 敬具

本信写送附先 在オタワ總領事

註 首相ハ Sir Richard McBride, K.C.: M.C. ナル別添書類省略ス

一五一 三月八日 在ヴァンクーヴァー 阿部領事ヨリ
加藤外務大臣宛

Municipal Act 中ノ酒類販売免許狀規則中ヨリ排日的条項削除ノ件

機密送第一二二号 (四月十六日接受)

大正四年三月八日

在晚香坡

機密公第一六号 (四月十六日接受)

大正四年三月十五日

在晚香坡

領事 阿 部 嘉 八 (印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

加奈陀ニ於ケル排日問題ト称スルモ実ハ當領中部東部諸州ハ本問題ニ關知セス偶領議會ニ於テ排日的言論ヲナスモノアルモ之レ主トシテ当地方ヨリ選出セラレタル一二ノ議員ニ過ギス故ニ嚴格ナル意味ヨリスレハ加奈陀全体ヲ通シテノ排日的感情存スルト謂ハムヨリハ寧ロ太平洋沿岸當B・C州ニ於ケル排日的感情ナリト謂フヲ適切ナリトス而シテ當州ニ在リテハ「ナタル」法ノ通過トナリ學童隔離問題トナリ官有山林伐採業東洋人使傭禁止トナリ会社法中日支兩國会社支店ノ登記否認トナリ市ノ營繕事業ニ東洋人使傭禁止トナリ漁業法ノ改正トナリ營業鑑札不附ノ問題トナリ過去十數年間不斷ニ排日的感情ノ蠢勃タルヲ見ル若シ夫レ微ヲ尋ネ細ヲ窮ムレハ其ノ影響スル程度ノ大小ハ暫ク措クモ排斥ノ感情漲ラサルハ無カリキ勿論是レ等諸種排斥問題中縱令州議會ヲ通過シテ法律ノ制定トナリタルモノヲ英本国

ヨリノ干渉ノ結果否認セラレタルモノ或ハ州当局者ニ於テ其ノ種排斥ハ之ヲ希望セザリシ為メ州會ヲ通過セザリシモノ偶之レ有ルヘシト雖邦人利害ニ至大ノ影響ヲ及ホシ又及ホスヘキモノハ官有山林伐採邦人使備禁止ト会社法中登記問題ナリ而シテ前者ニ至リテハ殆ト十年ノ懸案ニシテ爾來之カ解除方ニ関シ数次ノ交渉ヲ試ミタルモ何等ノ効力ナク現首相「マクブライド」氏ノ如キモ本件ニ関シテハ其ノ態度頗ル強硬ニシテ領政府ニ於テモ亦本件ニ関シテハ州政府ノ意思ヲ翻サシメムコト困難ナリトシ多ク協議ニ与ラサリキ又会社法問題モ現政府從來ノ方針ヨリスレハ該条項削除方承認モ易々受諾スヘキ問題ニ非サリシハ疑ヲ容レス蓋シ保守自由兩党ノ孰レヲ問ハス親日の言動ヲナスハ多数ノ人心ヲ買フ所以ニ非サレハナリ要スルニ当州ニ於ケル排日の感情若クハ成法ニシテ事苟モ勞働者ニ關聯スル問題ニ至リテハ政府ニ在リテモ其ノ党略上打消又ハ改正ヲ肯セサルヲ常トセリ故ニ官有山林問題ニ對シ現政府当局者カ其ノ態度強硬ナリシ所以亦茲ニ存ス然レトモ昨夏歐洲大乱ノ突発以來帝國カ同盟國タル英國ニ對シテ誠実ニ同盟規約ヲ履行シ單ニ当太平洋沿岸ニ就テ之ヲ謂フモ軍艦出雲カ当沿岸通商

進策ニ關スル件

機密公第一七号

(四月十六日接受)

大正四年三月十五日

在晚香坡

領事 阿 部 嘉 八 (印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

当地方ニ於ケル排日ノ根底ハ頗ル深クシテ俄カニ之ヲ一掃スル事到底不可能ノ事ニ屬スト雖偶歐洲開戦以來對日感情ニ一大變化ヲ來シ漸次親日の傾向ノ顯ハレ來レルコトハ屢々入貴閣候補通りニ有之候之ヲB・C州首相「サー・リチャード・マクブライド」氏ニ付テ見ルニ歐洲開戦當時出雲艦ノ來航ヲ多トシB・C州ノ特産品ヲ記念物トシテ艦長ニ贈リ感謝ノ意ヲ表スル等漸次對日ノ感情緩和シタルニ加ヘ客年十月ノ頃鐵道資金調達ノ目的ヲ以テ同氏カ英京ヲ訪問シタル際外相「グレイ」卿ヨリ日英同盟ノ關係ヨリ日加親善ノ緊急必要ナル所以ヲ充分ニ説得セラレタルモノ、如ク從來自党ノ政見トシテ常ニ排日論ヲ唱ヘタル首相ノ態度ハ茲ニ一變シ今回排日の懸案解決ニ對シテモ亦耳ヲ傾クルニ至リ本年一月二十一日開會ノ州議會ニ於テモ首相ハ劈頭親日の演

七 「カナダ」ニ於テ本邦移民排斥關係一件 一五三

保護ノ任ニ當リタル以來假令「エスカイマルト」軍港ニ英艦二艘ノ警備スルアリト雖兩艦ノ武力ハ沿岸防備ノ実ヲ完フシ得ルヤ否ヤ晏如タル能ハス会独艦來襲ノ說アリタル際ノ如キ州民ノ憂懼渺カラス帝國軍艦ノ威力ヲ頼ミタルカ如キハ多言ヲ要セス随テ人心ノ帰スル所輿論ノ變遷トナリ当地英字諸新聞ニ就テ見ルニ曩日支那少年犯罪事件駒形丸事件等ニ關聯シテ常住不斷排日ノ記事論說ニ日モ足ラサリシニ不拘一度歐洲開戦ノ報アルヤ一斉筆ヲ収メテ復排日ヲ論議セス一方州政府当局者ニ於テモ亦排日の感情ノ緩和ニ努メ本年一月二十一日開會去ル三月六日ヲ以テ閉會シタル州議會ニ於テモ首相「マクブライド」氏ハ常ニ親日ノ態度ヲ持シ屢々言論ニ之ヲ發表シ苟モ日本ニ惡感ヲ起サシムルカ如キ法案ノ防止ニ尽力シタルハ其ノ都度報告シタル通りニシテB・C州ニ於ケル排日感情ノ緩和ハ特ニ著シキモノアリ

右及報告候 敬具

一五三 三月十五日

在ヴァンクーヴァー阿部領事ヨリ
加藤外務大臣宛

英領コロンビヤ州ニ於ケル親日の傾向維持増

説ヲ試ミ從來B・C州カ東洋移民ノ入國ニ反對セルハ一ニ經濟上ノ理由ニ基キ已ムヲ得サル手段ニ出テタルモノニシテ決シテ日本國民ニ對スル反感ニ因ルモノニ非ス此点ニ就キ起リ易キ幾多ノ誤解ニ就テハ常ニ其ノ弁解ニ努メタルモ此際特ニ了解セラレムコトヲ望ムトノ弁明ヲナシ日本帝國カ太平洋沿岸ニ軍艦ヲ派遣シテ事無キヲ得タルハ加奈陀市民一般ニ日本國皇帝陛下並ニ臣民ニ感謝措カサル所ナリト述ヘ(二月二十七日附公第二三三号参照)タルカ如キ首相ノ言トシテ未タ曾テ聞カサルトコロナリ又今期排日の条項ヲ規定セル法案例ヘハ Kelp-Reduction Works 法案ノ如キ反對黨員カ同業免許狀出願者資格ノ条項トシテ排日の規定ヲ挿入セムトシタルニ對シ首相ハ親日の演説ヲ試ミテ之ヲ撤回セシメ(三月八日附公第四六号参照)玉場法案ノ如キ既ニ第三議會ヲ通過シタルモノニ對シテハ副知事ニ申請シテ之ヲ不承認タラシメ(三月八日附機密公第一一号参照)市制中酒類販売條例ノ追加規定ノ如キ委員會ニ於テ檢事總長ヲシテ本条項ヲ削除セシメ(三月八日附機密公第一二二号参照)及當州会社法中本邦会社支店ノ登記ヲ許サ、ル第一四八条ノ規定ノ如キ通商ノ發展ヲ阻害スル条項ニシテ現ニ三

井ノ如キ当市ニ於テ同出張所ノ設立ニ苦ミタルモ首相ノ尽力ニヨリ遂ニ本条ノ撤回ヲ見ルニ至レリ尚親日感情問題トシテハ曩ニ東洋人及白人間ノ結婚ニ一種ノ制限的訓令ヲ発シタルニ対シ当方ノ申入ヲ俟タス先方ノ任意ニヨリ日本人ニ対シテハ右ノ制限ヲ設ケサルコトヲ追訓シタル等首相及当局者カ俄カニ本邦ニ対シテ好意ヲ表シ来リタルコトハ日英同盟自然ノ結果ナルヘキハ勿論ナリト雖上述ノ如ク多年不断ニ排日ヲ呼号シ保守自由両党ノ孰レヲ問ハス党略上東洋人排斥ヲ標榜スルコトカ最も自党ノ立場ヲ飾ル好個ノ題目タルニ鑑ミ時局ノ変遷ニ伴ヒ何時其ノ再会ヲ見ルヤ難計故ニ此機会ニ於テ州政府当局殊ニ保守党ノ首領且現政府ノ首脳トシテ州政府界ニ最も勢力アル首相「マクブライド」氏ヲシテ倍々親日の感情ヲ抱カシムルコトハ将来当州ニ於テ我利益ヲ開拓スル上甚好機タルヘシト信セラル、ニ依リ相当ノ時期ニ於テ同氏ヲ日本ニ招待シ本邦名士ト相識ルノ機会ヲ与ヘ本邦ノ状態ヲモ会得セシムルヲ得ハ在留邦人ノ為メ将来ノ利益蓋シ尠カラサルヘシト被思考候右招待ノ結果首相ノ諾否ハ玆ニ保障シ難シト雖尠クモ之ニ対シテ万億感謝ノ意ヲ表スヘキハ疑ヲ容レサル所ニ有之候

テハ本年二月廿五日付往電第十式号ヲ以テ及御電報置キタル通ニ有之候処右禁止令ハ予期之通り更ニ本年九月三十日迄更新セラル、コト、相成本月廿日付官報ヲ以テ公布相成候ニ付本官ハ移民総監ヲ往訪為念本令ノ更新ハ日本人ノ関スル限り従前通り毫モ適用ヲ見ザル旨書面ノ通知ヲ得度旨申入候処総監ハ之ヲ快諾シ別紙写一号之通申越候ニ付別紙写式号ノ通り回答致置候尚「ヴィクトリア」及晚香坡ニ於ケル移民官ハ本令ノ従前通日本人ニ適用ヲ見ザル儀ニ就キ誤解ナキ様訓令セラレタルヤ否ヤヲ確カメタルニ対シ総監ハ其儀ニ就テハ既ニ充分内訓済ナレバ安心セラレ度シトノコトニ有之候

本件ニ関シ更ニ首相ノ保証ヲ得シカトモ考候得共首相ノ保証ハ実質ニ於テ何等前記総監ノ保証ニ優ルモノ無之ノミナラス客年四月八日付通機密第一〇号附属首相来翰ニ依テ見ラルル通り却テ首相ヲシテ再ビ加奈陀政府及議會ガ外来移民ニ関スル完全ナル自由支配権ヲ保有スルコトヲ繰返サシムルニ過ギズシテ何等ノ実利ナキヲ以テ寧ロ総監ノ保証ニ満足スルヲ得策ト思考致候次第ニ有之候

別紙写相添此段及報告候 敬具

叙上ノ事情御賢察ノ上本件ニ対シテハ特ニ御考量ヲ賜リ其ノ結果何分ノ儀御回訓相成候様致度此段申進候 敬具

本信写送附先

在オタワ総領事 在 英 大 使

一五四 三月二十八日 在オタワ矢田総領事ヨリ
加藤外務大臣宛

B・C州移民禁止令実施期日延長ニ関スル件

附屬書一 三月二十七日附移民総監「スコット」氏

ヨリ矢田総領事宛来翰写

二 三月二十八日附矢田総領事ヨリ「スコット」
総監宛返翰写

通機密第三号

(五月三日接受)

大正四年三月廿八日

在阿多和

総領事 矢田長之助(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

本年三月三十一日ヲ以テ満期トナルベキB・C州移民禁止令ガ満期後更ニ実施延期セラル、コトアル場合ニ於テモ日本人ニ関スル限りハ従前通之ガ適用ヲ見ルコトナキ趣ニ関シ内務大臣及移民総監ト予メ会谈ヲ遂ケ置キタル次第ニ就

本信写送付先

在英大使 在晚香坡領事

(附屬書一)

別紙寫第一號

三月二十七日附移民総監「スコット」氏ヨリ矢田總

領事宛来翰寫

27th March, 1915.

Dear Sir,

I enclose herewith three copies of Order-in-Council P.C. 565, dated the 13th March, 1915, being renewal of P.C. 2455, of the 26th September, 1914, and prohibiting the entry at British Columbia ports of skilled and unskilled labour, untill after the 30th of September, 1915.

I may say that, as in the case of P.C. 2455, this Order in no way affects Japanese, who continue to be dealt with under the Lemieux Agreement.

Yours very truly

(signed) W.D. Scott

Superintendent of Immigration.

C. Yada, Esq.,

Consul-General of Japan,

「カナダ」ニ於テ本邦移民排斥關係一件 一五四

216 Metcalfe St.,
Ottawa, Ontario.

註 Lemieux Agreementニ関シテ日本外交文書第四十一卷
第二冊一五八五文書同一五八八文書等參照
(附 録)

P.C. 565.

PRIVY COUNCIL, CANADA.
AT THE GOVERNMENT HOUSE AT OTTAWA.
SATURDAY the 13th, day of March, 1915.

PRESENT:

HIS ROYAL HIGHNESS

THE GOVERNOR GENERAL IN COUNCIL:

His Royal Highness the Governor General in Council, under and in virtue of the provisions of Subsection (c) of Section thirty-eight of the Immigration Act, 9-10 Edward VII, and in view of the present overcrowded condition of the labour market in the Province of British Columbia, is pleased to make the following Order:—

From and after 1st April, 1915, and until after the 30th day of September, 1915, the landing at any port of entry in British Columbia hereinafter specified of any immigrant of any of the following classes or

occupation, viz:—

Artisans:

Labourers, skilled and unskilled:

shall be, and the same is hereby prohibited.

The following ports of entry in British Columbia are hereby designated as the ports of entry at which this Order shall apply:—

Vancouver	Ganges Harbour	Paterson
Victoria	Douglas	Aldergrove
New Westminster	Gateway	Rykerts
Nanaimo	Grand Forks	Rossland
Prince Rupert	Huntingdon	Stewart
Port Simpson	Kamloops	Union Bay
Anyox	Keremeos	Upper Sumas
Atlin	Kingsgate	Waneta
Chilliwack	Landner	Pacific Highway
Bridgesville	Myncaster	White Rock
Chopaka	Ladysmith	Mission Junction
Carson	Midway	Port McNichol
Cascade	Steveston	Whales Island
Comox	Chemainus	New Port
Osoyoos	Powell River	Alberni

Sgd. Rodolph Boundreau

Clerk of the Privy Council.

(附屬書II)

別紙寫第二號

三月二十八日附矢田總領事ヨリ「スロコナ」總監宛

返翰宛

March, 28th, 1915.

Dear Sir:—

I beg to acknowledge receipt of your letter of the 27th inst. enclosing three copies of Order in Council No. 565 which is the renewal of P.C. 2455 of the 26th September, 1914, and prohibits the entry at British Columbia ports of skilled and unskilled labour, until after the 30th of September, 1915.

I am glad to note in your letter that as in the case of P.C. 2455 the new Order in no way affects Japanese who continue to be dealt under the Lemieux Agreement.

I remain,

Sir,

Yours faithfully,

(Signed) C. Yoda

Consul-General of Japan.

W.D. Scott, Esq.,

七 「カナダ」ニ於テ本邦移民排斥關係一件 一五四

一九六

Superintendent of Immigration,

Ottawa.

一五五 四月十五日

在ヴァンクーヴァー阿部領事ヨリ
加藤外務大臣宛

カナダ帰化日本人選挙権獲得運動ニ関スル件

機密公第二四号

(五月十八日接受)

大正四年四月十五日

在晚香坡

領事 阿 部 嘉 八 (印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

当領B・C州ヲ除ク他州ニ於テハ加奈陀帰化日本人ニ対シテ総テノ帰化人ト何等差別ヲ設ケス生来ノ英国臣民カ享有スルト同等ナル政治上及其ノ他一切ノ權利ヲ附与シ居ルニ拘ラス独リB・C州ノミ選挙権ヲ与ヘス故ニ当州在留帰化日本人ハ之ヲ不当ナリトナシ明治三十三年即チ一九〇〇年晚香坡ニ日本人協議会ヲ開キ同年十一月三十日ノ州選挙ニ際シ本間留吉ハ晚香坡選挙区ニ山崎寧ハ「ニューウェストシンスター」選挙区ヨリ試訴ヲ企テタル義ハ明治三十三年十一月二日附機密第二二二号ヲ以テ当時駐在清水領事ヨリ報

一九七

告申進タル次第有之候一方在留帰化日本人間ニ在リテハ当州ニ於ケル日本人種将来ノ死活ニ關スル大問題ナリトシ各地ヨリ釀金ヲ仰キ晚香坡市選挙区投票係ヲ被告トシテ先ツ晚香坡「カウンティー・コート」ニ告訴シタルニ本問留吉ノ勝訴ニ帰シ（一九〇〇年十一月三十日）候処当該吏員ハ更ニ之ヲ在「ヴィクトリア」高等法院（The Supreme Court of British Columbia）ニ上告セシモ再ヒ前回同様帰化日本人ノ選挙権ヲ承認スヘキ旨ノ判決ヲ与ヘラレ（一九〇一年三月九日）シヲ以テ州政府ハ更ニ之ヲ英国枢密院ニ上告シタルニ州政府ニ於テ選挙権アリト認定シタル場合ハ之ヲ有スルモ然ラサル場合ハ之無キモノトストノ最後ノ判決ヲ与ヘラレ（一九〇一年十二月十七日「ロウリポート」）玆ニ当州ニ於ケル帰化日本人ハ遂ニ選挙権ヲ否認セラル、ニ至リ候爾来当市加奈陀日本人会ハ好時機ニ於テ再ヒ本問題ヲ提起セムトノ下心ヲ有シ客年七月合衆国「ポートランド」市ニ開催セラレタル太平洋沿岸日本人会協議会ニ於テ合衆国在住邦人ノ諸問題ニ就テ種々決議ヲナシタル際英領哥倫比亞州ニ於テ帰化日本人ニ対スル参政権行使禁止ハ不法ノ甚シキモノト認メ太平洋沿岸日本人協議会ハ加奈陀日本人会ニ

委嘱シ該禁止解除ノ実行ヲ期ス旨並ニ本問題ニ關スル運動開始ノ際ハ太平洋沿岸各地日本人会ハ費用ヲ分担スヘシトノ決議ヲ致居リ候処当市弁護士ニシテ学殖深遠名望アル Sir Charles Tupper ノ意見ニ依レハ州選挙法制定以前即一八九七年以分ニ帰化セル者ニ対シテハ選挙権ノ有無ヲ争フ余地アリトノ見解ナルニヨリ恰モ本年ハ州総選挙ノ年ニ当ルヲ以テ本件試訴ヲ提起スヘキヤ否ヤニ付キ当市加奈陀日本人会ハ三月十五日定期役員会ニ於テ討議セシカ元来一八九七年以前ニ帰化シタル者ハ僅々百人ヲ数フルノミナルニ訴訟ニ要スル費用ハ約一万五千弗ノ巨額ニ上リ且ツ沿岸各地日本人会側ノ態度ハ本件解決ニ同情シ居ルモ曩日「ポートランド」ニ於ケル決議ニ基キ費用分担ノ実行ハ頗ル困難ナル事情アルニ付結局法律上ノ問題トナサス幸ヒニ歐洲大戦争發生以来当州ニ於ケル対日感情緩和良好ニ赴キタルヲ以テ此機ヲ利用シ州官憲ノ同情ニ訴ヘテ法律ノ改正ヲ期シ之ガ解決ノ運動ヲ為スヘシトノコトニ決シ候

右報告申進候 敬具

本信写送附先

佐藤大使 在オタワ総領事

一五六 四月二十日

在ヴァンクーヴァー阿部領事ヨリ
加藤外務大臣宛

晚香坡市旅館従業員東洋人排斥ニ関スル件

公第九一号

（五月十八日接受）

大正四年四月廿日

在晚香坡

領事 阿 部 嘉 八（印）

外務大臣男爵 加藤高明殿

晚香坡市旅館従業員東洋人ノ排斥運動ニ関シテハ本年三月十二日付公第五五号ヲ以テ及報告置候処右ハ四月々次晚香坡市鑑札委員会ニ於テモ討議セラレ委員会ハ遂ニ後段記載ノ如キ決議文ヲ採用スルコト、相成候今其ノ経過ヲ記サンニ白人労働組合及婦人就職周旋同盟会側ヨリハ前回ト同一主旨ニヨリ此際一日モ早ク本件実施ヲ要請スルコロアリ右ニ対シ今回「ホテル」業者協会ヨリハ反对陳述書ヲ提出シ個人住宅等ニ於テ自由ニ東洋人ヲ雇傭シツ、アルニ「ホテル」業者ニ限り之レヲ禁止強制スルノ不公平ナルヲ述べ且又實際トシテ先月中当市「ホテル」業者ガ婦人同盟会ニ余リ穢シカラザル「ホテル」内一業務ニ付キ婦人ノ傭入方ヲ申込タルニ更ニ応ズルモノナカリシ一例ヲ示シテ本件実行ノ不能

ナルヲ説クトコロアリ先ニ小官ノ市長ニ対シ述べ置キタル本件ニ対スル希望並ニ在晚香坡支那領事ノ書翰又披露サレ尚委員会議長タル「テイラー」晚香坡市長ハ本件ニ関シテハ市長ハ決シテ意見ノ發表ヲ回避スルモノニアラズ市長ハ居常白人労働者ニ加担シ東洋人排斥ニ務ムルニ吝ナラズト雖モ市ニ於ケル一正當營業ヲ阻外スルガ如キコトヲ為ス能ハズ云々ト述べタリ委員会ハ双方聴取ノ結果委員会ハ「ホテル」業者ニ対シテ東洋人ノ使用ヲ禁止スベキ規則ヲ制定スルコト能ハズト雖モ出来得ル限り白人労働者ヲ以テ東洋人ニ代ユベキコトヲ要求スルモノナリトノ決議ヲ全会一致ヲ以テ可決シ閉会致候就テハ本年二月以来ノ懸案タリシ本件モ前述決議ヲ以テ一ト先ヅ結了シタルモノト認メラレ候

右及報告候 敬具

本信写送付先 在オタワ総領事

一五七 五月十四日

加藤外務大臣ヨリ
在ヴァンクーヴァー阿部領事宛

排日問題ノ新聞記事ニ関スル件

通機密送第四号

「ブリティッシュ・コロンビヤ」州ノ排日懸案交渉問題ニ

七 「カナダ」ニ於テ本邦移民排斥關係一件 一五八

関シ別紙切抜ノ如ク加奈陀日本人会ノ活動ヲ吹聴セル記事
今般都下諸新聞ニ現ハレ候右ハ恐ラク同会ニ關係ヲ有スル
者ノ寄送ニ係ルモノト想像被致候処最近同州ニ於ケル排日
問題処理ノ順調ニ進捗シタルハ現時世界動乱ノ機微ヲ捉ヘ
タル帝國政府ノ貴官ヲ經タル交渉ニ対シ州官憲カ大局ノ利
害ヲ顧念シ輿論ノ反抗ヲ巧ミニ回避シツ、内密敏速ニ行動
シタル結果ニ外ナラサルハ貴官御承知ノ通ニ有之候然ルニ
別添新聞記事ハ右当局ノ苦衷ヲ藐視シ専ラ在留本邦人会カ
領事ト協力シテ運動シタル結果州官憲カ讓歩屈從シタル如
キ印象ヲ讀者ニ与フルモノニシテ如斯記事カ軋シテ州官憲
ノ耳目ニ触ル、コト、モナラハ大ニ彼等ノ感觸ヲ害シ将来
排日問題ノ処理上障害ヲ残スコト可不勘ト被存候將又該記
事ニヨレハ日本人会カ劃策シツ、アル選舉權回復運動ナル
モノハ州選舉法改正以前ノ帰化人ニ限ラレ其利益ヲ受クヘ
キ者僅少ナル管ナルニ本運動ニシテ成功セハ加奈陀ノ排日
問題カ消滅スルモノ、如ク報道シ居ルハ甚シク世間ヲ誤ル
記事ニ有之候元來在留民カ本国ノ新聞ニ直接外交問題ヲ報
道論議スルニ際シテハ極メテ慎重ナル注意ヲ要スル儀ニ有
之候ニ付貴官ニ於テモ此旨ヲ体セラレ将来如此報道ヲ繰返

ハ過日移民總監ヲ往訪シ右禁止令ハ満期後更新セラルルカ
如キコトナギヤ否ヤヲ内問シタルニ總監ハB・C州労働市
場ノ状況其後毫モ改善ノ傾向ヲ認メザルニ付右満期後更ニ
更新ノ必要アルヘシトノコトニ付本官ハ其場合ニ於テモ日
本人ノ関スル限り其適用ヲ見ザルハ従前ノ通りナルベシト
述ヘ候然リトノコトナリシニ依リ然ラハ右更新決定ノ場
合ニハ其旨御通知ヲ受クルト同時ニ公文ニテ該令ハ従前通
リ日本人ニ適用ヲ見ザル旨ノ御通告ニ接シ度旨ヲ述ヘ總監
ノ承諾ヲ得テ相別レタルニ今般別紙写第一号ノ通り總監ヨ
リノ通牒ニ接シタルニ付別紙写第二号ノ通り回答致置候
本件首相ノ保証ニ関シテハ本年三月二十八日付通機密第三
号所陳ノ理由ニ依リ何等申入ルル所ナクシテ止ミタル次第
ニ有之候

別紙書類相添此段及報告候 敬具

本信写送付先 在英大使 在晚香坡領事

(附屬書一)

別紙寫第一號

九月三十日附移民總監「スコット」氏ヨリ矢田總領

事宛來翰

(Copy) 30th September, 1915.

七 「カナダ」ニ於テ本邦移民排斥關係一件 一五八

二〇〇

ヘサザル様關係本邦人ニ十分御注意相成度貴地通信ト認メ
ラル、本件類似ノ記事ノ新聞ニ表ハレタルハ今回力始メテ
ニハ無之從來時ニ散見スル所ニ有之候此段申進候也

別紙切抜添付

五月三日發刊中央新聞切抜

註 別紙新聞切抜省略

~~~~~

一五八 十月二日

在オタワ矢田總領事ヨリ  
大隈兼任外務大臣宛

B・C州移民禁止令實施期限延長ニ關スル件

附屬書一

九月三十日附移民總監「スコット」氏ヨリ  
矢田總領事宛來翰写

二

十月二日附矢田總領事ヨリ「スコット」總  
監宛返翰写

通機密第九号

(十一月三日接受)

大正四年十月二日

在オタワ

總領事 矢田長之助(印)

外務大臣伯爵

大隈重信殿

本年三月ヲ以テ更新セラレタルB・C州移民禁止令ノ實施  
期限ハ本年九月三十日ヲ以テ滿了ノ筈ト相成居候ニ付本官

Dear Sir,

I enclose herewith duplicate typewritten copies  
of Order-in-Council P.C. 2295 of this date, which is an  
extension of the provisions of Order-in-Council 565 of  
the 13th of March last.

I may add that as in the case of the previous  
order, this renewal in no way affects Japanese who  
will continue to be dealt with under the Lemieux  
Agreement.

Yours very truly,

(Signed) W.D. Scott,

Superintendent of Immigration.

C. Yada, Esq.,

Consul-General of Japan,

216 Metcalfe St.,

Ottawa.

(別 紙)

P.C. 2295

Privy Council

Canada.

AT THE GOVERNMENT HOUSE AT OTTAWA.

Thursday the 30th September 1915

PRESIDENT:

二〇一

HIS ROYAL HIGHNESS

THE GOVERNOR GENERAL IN COUNCIL.

His Royal Highness the Governor General, by and with the advice of the King's Privy Council for Canada, under and in virtue of the provisions of Sub-section C of Section thirty-eight of the Immigration Act, 9-10 Edward VII, and in view of the present overcrowded condition of the labour market in the Province of British Columbia, is pleased to order and it is hereby ordered as follows:—

From and after 1st October, 1915, and until after the 31st day of March, 1916, the landing at any port of entry in British Columbia hereinafter specified of any immigrant of any of the following classes or occupations, viz:—

Artisans; labourers, skilled and unskilled, shall be and the same is hereby prohibited.

The following ports of entry in British Columbia are hereby designated as the ports of entry at which this Order shall apply:—

|                 |                |            |
|-----------------|----------------|------------|
| Vancouver       | Ganges Harbour | Paterson   |
| Victoria        | Douglas        | Aldergrove |
| New Westminster | Gateway        | Rykerts    |

the 30th, ult., enclosing duplicate typewritten copies of Order-in-Council 2295 of the same date, which is an extension of the provisions of the Order-in-Council 565 of the 13th of March last.

I am glad to note in your letter that, as in the case of the previous order, this renewal in no way affects Japanese who will continue to be dealt with under the Lemieux Agreement.

|               |                   |                  |
|---------------|-------------------|------------------|
| Nanaimo       | Grand Forks       | Rossland         |
| Prince Rupert | Huntington        | Stewart          |
| Port Simpson  | Kamloops          | Union Bay        |
| Anyox         | Keremeos          | Upper Sumas      |
| Atlin         | Kingsgate         | Waneta           |
| Chilliwack    | Ladner            | Pacific Highway  |
| Bridgesville  | Myncaster         | White Rock       |
| Chopaka       | Ladysmith         | Mission Junction |
| Carson        | Midway            | Wales Island     |
| Cascade       | Steveston         | Newport          |
| Comox         | Chemainus         | Alberni          |
| Osoyoos       | Powell River      |                  |
|               | Rodolphe Boudreau |                  |

Clerk of the Privy Council.

The Honourable

The Minister of the Interior.

(附圖) (1)

別紙第2號

十月二日附矢田總領事ヨリ「カナダ」總領館返信

(Copy)

Oct. 2nd, 1915.

Dear Sir:—

I beg to acknowledge the receipt of your letter of

Yours very truly,  
(signed) C. Yada,  
Consul-General of Japan.

W.D. Scott, Esq.,  
Superintendent of Immigration,

Ottawa.

~~~~~